

意見交換会実施報告書

令和3年 11月19日

赤穂市議会議長 様

委員会委員長 瓢 敏雄

民生生活委員会は、下記により意見交換会を実施したので報告する。

記

開催日時	令和3年11月4日(木) 10時00分～11時30分
開催場所	赤穂市役所6階 大会議室
意見交換会テーマ	赤穂市における子育て支援について
出席委員	代表者：瓢 敏雄 前田 尚志 司会者：山野 崇 田渕 和彦 記録者：南條 千鶴子 深町 直也
相手方団体名 及び参加者数	主任児童委員 5名
	<p>1 主任児童委員の概要について</p> <p>5名の主任児童委員は、それぞれ個人としては、子ども預かり・アフター支援・子ども音楽指導など、児童への関わりを日常的におこなっている。各中学校区に1名おり2つの小学校区を担当。その地域の0歳から18歳までの児童の健全育成と安全な暮らしへの見守り活動をしている。①に子育て支援 ②に児童健全育成 ③に個別援助</p> <p>各校区で活動状況は多少異なるが内容は次のとおり。</p> <p>① <u>子育て支援</u></p> <p>(1) 児童館活動・・・毎月、第2水曜日に市内の4つの児童館を5人の主任児童委員で巡回し、子育て世代の親子の触れ合いタイムを提供し、スキンシップを楽しむ手遊び、絵本の読み聞かせ、季節感のある簡単なおもちゃ作りをしている。同じ時間を過ごすことで、お母さん同士が仲良くなり、子育ての相談や励ましの場にもなっている。</p> <p>(2) 赤ちゃん訪問・・・保健センターから依頼のあった赤ちゃんのお宅に、子育て応援隊の方と担当主任児童委員と一緒に訪問し、産後うつ</p>

病や母子の生活状況の確認とお母さんの不安解消へのサポートをしている。特に、DVや虐待を感じた時は、保健センターにつないでいる。

② 児童健全育成

校区内ではあいさつ運動、学校行事に参加、育成活動の巡回指導。校区や地域により取り組みは様々。一つの中学校区の紹介。

サポート会議、青少年育成会議、学校行事への参加などを通して様々な情報が得られる。

(1) 不審者情報が入った時、その地域の民生児童委員にお伝えし、散歩や外出時に「見守り」を実施する。新坂越大橋東詰めや西詰めでの事故を聞き小中学校の通学路の見守りを実施、その後高取峠の登り口通学路にガードレールが設置された。高雄地区でも通学路の不審者対応にと、トンネル横の道路の防犯カメラの設置を提案した。また、毎日の登校に随行して頂くシニア見守り隊のおおられ、民生児童委員は率先して見守りをしている。

(2) 「いじめ」や「不登校」の子どもの情報を担当民生児童委員に連絡すると、地域の子どもが仲良く遊ぶ機会を作ろうと、その方が中心となり社協と協働で「憩いの広場」を月1回開催されるようになった。また、ある地区では高齢者の集いで、お花見・七夕・クリスマス会に子ども達との交流の場を持って頂き子ども達も大喜びであった。これらの居場所に、地域のマンパワーを感じ感謝。昨年よりコロナ禍で中止となっているが、このような機会を持てる日が来る事を願っている。

③ 個別援助

個別支援会議では、様々な課題をもつ家庭の対応についての話し合いがされる。解決に向かう事例は少ないのが現状、良い方向に向かった事例を紹介。《2事例を紹介》

この事を通して地域の大人や学生などの異なる世代との交流が児童を認め、勇気づけてくれる場所となり、児童も「自分は誰かの役に立っている」と交流の場で自尊感情が育まれる機会となり、奉仕精神や働く喜びを学び心の成長がみられた。これらの事例の対応には、子どもの背景や環境への配慮をしながら信頼関係を築き、課題解決の糸口を模索しながら地域での長期にわたる見守りと関わりがなされている。そして、交替後の民生児童委員にも引き継がれている。今後も、地域の連携を大切にし、健全な児童育成に取り組んでいきたい。

昨年からのコロナ禍にあつて、経済不況が進み生活状況の変化から不登校児や様々な課題が増加傾向にある。心と心をつなぐ新しい交流の場、その在り方を見つける必要がある。

<p>中学校区内に主任児童委員が1人ということに対する取り組みや困り事</p>	<p style="text-align: center;">2 ご意見、ご要望</p> <p>●数年間の活動の中で気づいた点が2点。1つは、主な役割の中で日常の見守りという事がよく言われるが、大人からだけではなく子ども達も私たち大人の事をよく見ている。というのも、卒業式の時などに「今日はおばちゃんスカートやな」「おばちゃん、いつもズボンやからな」と、声を掛けてくれる。子ども達は大人の私達を、よく見ている。そういう事から登下校の中で、民生委員、高齢者の変化などを感じてくれていて、大人も子どももお互い様なのだと思う。</p> <p>2つ目は、日頃の挨拶プラス一言。民生児童委員が、送り迎えや危ない場所に立ち、「気を付けて行きよ」「今日は寒いな」と声をかけて下さっている。近い・信頼感があり、困った時、けがをした時「バンドエイドある？」と親以外の近所の人にも言える雰囲気担当の地区にはある。それはやはり、挨拶プラス一言の毎日の積み重ねだと思う。</p> <p>自分の住んでいる小学校区の地理や子ども達の家の中。家族構成や状況はわかるが、もう一つの校区の地理・家族構成などわかりづらい。民生児童委員にお願いするが、ご高齢であったり、お仕事で忙しかったり、見守りができにくい。主任児童委員が中学校区に1人というのはどうかと考える。</p> <p>●大人から子ども達への声掛けに関して、見知らぬ人から声を掛けられると子ども達もドキッとすることもあると思うので、日頃からコミュニケーションを結んでいる身近な顔見知りの大人からの声掛けが良いと思う。</p> <p>① 個人の仕事の関係で子ども達や保護者からの情報を得る事が出来るので大きく困る事はないが、手の行き届かない事はある、もどかしい所ではある。</p> <p>② 自分が住んでいる地区は仕事も同じ地域なので情報は入りやすいが、人数が多く一部しかわからない。2019年度から主任児童委員として活動しているが、コロナの関係で行事もなかったので去年1年は全く何も出来なかった。これでは困ると思い、自分から小学校や幼稚園に行き運営委員や評議員など何か関われる事がないが尋ね、そこから行事予定を配布してもらえるようになった。けれど幼稚園はそういうわけにはいかないようで、地区外の幼稚園に行くことはほとんどなく個人的に電話をするなどしている。主任児童委員の立場があやふやで、小学校のサポート会議に行き、SWやSSWには話はいつでも、こちらには、ただ</p>
---	--

「見守って下さい」とだけ言われ、住所も何もわからない状態。地区の民生委員に伝えると「住所も何もわからないのに見守りようがない」と言われる。学校に住所を教えてもらいに行くと、すぐには教えてもらえない。色々問い合わせをして教育委員会に連絡を入れるなど大変な事になる。「主任児童委員とは、なんだろう」とすごく思う事がある。SW や SSW は1年や2年で交替とかある。地域の民生委員は見守れる状態なのに情報を伝えられない。

以前、警報が出た時、父子家庭の児童が休校なのに父親から子どもに連絡がなくて暴風の中1人歩いて学校に行っている所を西中の先生がたまたま見つけ「学校休みやぞ」と教えてくれて家に帰った事があった。地区の人もわかっていたら声をかけられたのに、学校に行けていない、ごはんが食べれていないという事を周りの人が声を掛けられたらと思う事がある。SW や SSW は深く状況はよくわかっているが地区の人間としては関われないもどかしさがある。

③ 担当の中学校区は比較的狭いが、自分の住んでいない地区の事は小学校の行事に行った時しかわからない。民生委員定例会に参加し小さな事でもお互い、言える関係にはある。当然、両方の定例会に参加し小さな事でも気になる事を話し合うようにしているが小学校区に1人主任児童委員がいてくれれば更に詳しくわかる。

④ 担当の中学校区は校長先生の了解を得て住所のない気になる児童の名簿を頂いている。そのことを先代の主任児童委員の方から引き継いだ。あくまでも守秘義務は徹底し各地区の民生委員へ地区別に整理しお渡ししている。住所は各地区で調べてもらうようにしている。人の出入りの少ない所なので、祖父母などの家族構成も理解して下さっている事も多い。ある地区の方は不登校と把握しているので、夕方1人ぽつんとしている子に声を掛けて下さったとお聞きした。子ども食堂の方からはSSWは常時子ども達を連れて行けないので、地区の方が連れて来ていただけたらと言われていた。けれど、社協や主任児童委員が車で送ろうかというが、現実には難しい。SSWは学校で顔見知りなので、子ども達も安心するようだ。

ある家庭で、子どもへの支援金も全て親が自分の為に使い込んでしまい、親へ刃物を向けるくらい大人への不信感が強い子どもがいた。その子ども達が、SW・SSW・担任の先生・憩いの広場など地域行事でつながる信頼できる大人たちと関わる中で、社会性を身につけ良い方向に向かった事例があった。子育て子ども会議に参加し、関福大の学生も一生懸命子ども達の事を把握し、SSWも金銭の使い方等も指導している様

<p>3年間という主任児童委員の任期に対して</p>	<p>子を伺った。親子が良い触発を受けられる活動への支援、また啓発を市から積極的に行って頂きたい。</p> <p>⑤小学校区が2つという事で、案内は頂くが行事が同じ日に重なった場合はどうしても自分の住んでいる校区の行事に参加するようになる。というのも、顔見知りの子ども達が「おばちゃん来るよな」と声をかけてくれるから。日程が何日かあったオープンスクールなどには参加できた。音楽会など日程が重なってない場合は参加するようにしている。住んでいない地区の家庭教育学級など参加している。日程が重ならない場合は行かせて頂き、重なっている場合は「ごめんさい」という感じ。地域サポート会議や子育て支援会議から出てくる家庭の子どもの見守りなどは、他地区の場合民生児童委員にお願いするというのが現状。</p> <p>① 引き受ける時には、5年と言われると長い印象だが3年という事で引き受けた感がある。しかし、いざ活動となると、1年目は、わけがわからないまま過ぎる。2年目は、少しわかってきたかなという感じ3年目はこういう流れで活動したら良いのかがわかる感じだった。引き受けた時に、「せめて2期はやって下さい」と言われた。</p>
<p>地域別の問題はあるかの問いに対して</p>	<p>①特別、地域性に関する問題というのではない。赤穂全体での問題としても単純に比較する所がないので答えようがない。</p> <p>以前から不登校という問題は全体的にあったが地域性という事ではないと思う。</p>
<p>児童虐待防止対応や子育て支援に対して、民生児童委員との連携について</p>	<p>① 民生児童委員は、子どもへの関心も高く、常に気にかけていただいている。意識も高く協力的である。</p> <p>② 地域性がある。人口の出入りの少ない、家族構成までわかる地域とハイツなどが多く児童の名前さえわからない地域では大きく違う。</p> <p>「名前もわからない児童をどう見守ったら良いのか」と言われ、もったもだと思う。連携の取りようがない状況があるのが現実。</p> <p>③ 以前は、子ども会毎の名簿があったが、今は名簿も全くない。子ども的人数も多くハイツが多い地域なので連携しての支援は厳しい。</p>
<p>日頃の活動の中で感じる行政への要望</p>	<p>① 校区でのサポート会議には、社会福祉課が来られる。子育て支援課と5人の主任児童委員とで、情報交換し会議を行う際、情報共有がされていないので、再度、同じ内容を初めから伝えるという2度手間になっている。その点を改善していただきたい。</p>

<p>行政との定例会について</p>	<p>② アフタースクールの仕事を通して知りえる情報は、守秘義務の関係で伝える方法が決まっている。内容は、支援する為に大変重要であり多岐にわたる。守秘義務の範囲を、子どもの支援につながる体制にして頂きたい。現在では、知りえた重要な情報が子ども支援に繋げる事が出来ずに困っている。</p> <p>③ 有年地区には中学校区に1つある児童館がない。年末年始以外は開いており保育士も常時おられ、子どもの遊び場だけではなく、困ったときの「駆け込み寺」的な居場所で、とても大切。保護者も気軽に立ち寄れる場所にもなる。子どもの人口も少なく学校の存続に力を入れて頂き感謝しているが児童館も是非に造って頂きたい。</p> <p>④ 通学路で、危険区域として学校でも認定されている箇所がある。2号線沿いでトラックも頻繁に走っている数メートルの歩道にガードレールがつかない。数年前から学校からも依頼されているのがなぜつかないのか、どうしたらつくのか、教えて頂きたい。</p> <p>① 年7回程度。子育て支援課・主任児童委員5名・民生児童委員会の会長・副会長が出席する。</p> <p>② 毎月。社会福祉課・社協・地域包括・民生児童委員全員が出席する。</p> <p>③ 主任児童委員5名は、月に1回か2か月に1回児童館訪問等で情報交換をしている。</p>
<p>委員会を終えて</p>	<p>●今回の話を伺い、子ども達もしっかりと大人を観察しているという事を知った。自分の住んでいる地域の子供達に「声をかけやすい大人だな」と、思ってもらえるような日頃の声掛けなどの関わりが大切であると思う。</p> <p>●中学校に1人という受け持ち担当地区の広さ及び学校行事日程の重なりによる調整、健康福祉部の社会福祉課、子育て支援課及び教育委員会や社会福祉協議会など関係する部署の多さと連携のあり方、子どもの見守りをお願いされているが、守秘義務や個人情報保護による情報提供の少なさ等、多くのご苦勞がある事が理解できた。</p> <p>適正な設置人数、円滑な連携を進めるための会議の開催、適正な情報提供のあり方等主任児童委員の方が、生きがいを持って充実した活動ができるよう、早急に検討・改善が図られるようすべきと感じた。</p> <p>●個人情報の関係で、なかなか情報が得られずに、見守り支援活動に繋がらないという事をお聞きしたが、重要な課題なので、今後取り組んでまいりたい。</p> <p>●アフタースクールや児童館の先生から、子ども達の大切な情報が得られる場所があるが、個人情報の関係から支援会議などで情報共有が</p>

	<p>できないと聞く。それでは子どもの支援につなげられないと思うので、今後取り組んでいきたい。</p>
--	---